

週刊

# 愛知民報

2022年  
4月17日  
第2582号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号  
愛知あかつき会館内  
☎(052) 251-2925 F A X(052) 261-6063  
定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円  
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)  
1966年7月31日第三種郵便物認可



愛知県平和委員会の呼びかけからはじまった「Peace For Ukraine」が主催した、スタンディング&スピーチをおこなう若者たち=10日、名古屋市中区栄

日本共産党の志位和夫委員長は7日、全国都道府県委員長会議の討論のまとめでウクライナ問題について「多くの若者は、偏見を持たないで、純粹に、いまの事態に心を痛め、何とかしたい、平和を取り戻したいと願っているのだと思います」と述べました。愛知でも若者、学生、高校生、中学生たちが戦争反対の声を上げています。



「ウクライナに平和を」と訴える人たち=3月20日、名古屋市中区(しんぶん赤旗提供)

「ウクライナに平和を」と訴える人たちは、3月20日、名古屋市中区(しんぶん赤旗提供)でデモを行いました。参加者は、「子どもたちが殺すな」のプラスタを掲げました。大学の新生は「戦争止めるためにできることをしたい」と民青に加盟しています。

## ロシアのウクライナ侵略に抗議 声あげる 若者、高校生、子どもたち

ロシアによる武力侵略を一刻も早くやめさせウクライナに平和を求めて、世界でも愛知でも若者や子どもたちが声を上げています。愛知県平和委員会青年部は、侵略開始の3日後の2月27日、3月13日、27日、4月10日と繰り返し抗議行動を呼びかけ、有志の参加が広がり「ピースフォーウクライナ」を結成。10日の行動で豊田市の若者は「ツイッターを見てきました。自分たちにできることは声を上げていくことだ」と訴えました。3月18日、愛知県高校生フェスティバル実行委員会は「平和は願っているだけではかたない。中高生が立ち上がって行動しよう」と呼びかけ、雨の中200人余が、ヒマワリを手にパレードしました。



「戦争反対」「ウクライナに平和を」とヒマワリを手にアピールする高校生たち=3月18日、名古屋市中区(しんぶん赤旗提供)

### 清須市議選

### 北名古屋市議選

## 17日投票へ 加藤、かわぶち、渡辺氏全力



加藤みつり清須市議候補



かわぶち康宏北名古屋市議候補



渡辺まい子北名古屋市議候補

10日両市に応援に入った井上さとし参院議員・参院国対委員長は、ウクライナ侵略のロシアを非難。侵略戦争・覇権主義反対、核兵器廃絶を貫く日本共産党への支持をよびかけました。岸田政権のコロナ対応を批判し、感染防止対策の強化を主張しました。

共産党の渡辺、かわぶち両候補は、ロシアの侵略に対して「国連憲章を守れ」と厳しく批判、市議会で繰り返し要求した18歳までの医療費無料化が実現できたことを報告。国保税・介護保険料の値下げや、消費税5%減税を求める政策を語りました。

清須と同日投票の北名古屋市議選(定数21・立候補24)には、ともに共産党現職の渡辺まい子、かわぶち康宏両氏が立候補しています。保守系、公明、立憲、維新も候補者を立てています。

17日が投票日の清須市議選で、日本共産党現職の加藤みつり、候補は議席確保と得票増をめざし全力をあげています。オール与党議会で唯一の革新野党が共産党の加藤候補です。ロシアのウクライナ侵略糾弾、国保税・介護保険料の引き下げ、学校給食費無料化など教育・子育て支援、河川改修・防災強化などの政策を語り支持を呼びかけています。

## 命と暮らしを守る 共産党議席必ず